

平成 3 0 年 度

第 4 5 回 通 常 総 会 議 案 書

平成 3 0 年 6 月 2 5 日

国 際 航 路 協 会 日 本 部 会

# 目 次

## 議 題

- 1) 第 1 号議案 平成 29 年度会務報告並びに決算報告…………… 1
- 2) 第 2 号議案 平成 30 年度事業計画並びに収支予算…………… 11
- 3) 第 3 号議案 役員を選任について …………… 15

## 報 告 事 項

- 1) 企画委員会委員の交替について …………… 16
- 2) パナマ年次総会 (AGA) および国際航路会議 (Congress) ……… 17
- 3) P I A N C 神戸年次総会について …………… 18



# 第1号議案 平成29年度会務報告並びに決算報告

## I 平成29年度会務報告

### (1) 会議参加及び開催

#### 1) PIANC 本部関係

平成29年度は、年次総会（AGA）、評議会、執行委員会、海港委員会、環境委員会、レクリエーション委員会、国際協力委員会及び若手技術者委員会の各種会議に出席した。参加状況は次表の通りである。

会 議	開催日	開催地	日本からの出席者(役職は当時のもの)	
年次総会 (AGA)	H29.6.19	Cairns (オーストラリア)	川嶋 康宏 須野原 豊 林田 博 津田 修一 池町 円 田中 郁也 塚本 邦芳 堀川 洋 金谷 勇一 山田 健一	日本港湾空港建設協会連合会 会長 前 国際航路協会 副会長 国際航路協会 副会長 国土交通省 大臣官房 技術参事官 国土交通省 港湾局 産業港湾課 首席国際調整官 水産庁 漁港漁場整備部計画課 課長補佐 水産庁 漁港漁場整備部整備課 専門官 国際航路協会 日本部会 事務局長 神戸市みなと総局経営企画担当局長 神戸市みなと総局振興係長
評議会 (Council)	第78回 H29.9.17	Pittsburgh (米国)	林田 博 種村 誠之	同上 国土交通省 港湾局 産業港湾課 国際調整官
	第79回 H30.2.2	Brussels (ベルギー)	林田 博 種村 誠之 堀川 洋 東山 茂 北川 道夫 西村 一郎 梶山 耕司	同上 同上 同上 国際航路協会 日本部会 事務局 神戸市議会議長 神戸市みなと総局技術部長 神戸市みなと総局みなと振興部情報統計係長

会 議	開催日	開催地	日本からの出席者(役職は当時のもの)	
執行委員会 (ExCom)	H29. 6. 17	Cairns (オーストラリア)	林田 博	国際航路協会 副会長
	H29. 9. 16	Pittsburgh (米国)	同上	同上
	H30. 1. 31	Brussels (ベルギー)	同上	同上
海港委員会 (MarCom)	H29. 9. 11- 12	カレー (フランス)	樋口 嘉章	(株)リエンタルコンサルタンツ 執行役員
	H30. 1. 30- 31	Brussels (ベルギー)	同上	同上
環境委員会 (EnviCom)	H29. 9. 17- 18	Pittsburgh (米国)	深海 正彦	新日鉄住金エンジニアリング(株)ゼネラルマネージャー
	H30. 1. 30- 31	Brussels (ベルギー)	同上	同上
レクリエーション 委員会 (RecCom)	H29. 9. 18	Pittsburgh (米国)	山下 雅人	(一社)マリーナビーチ協会 理事
国際協力 委員会 (CoCom)	H30. 1. 30	Brussels (ベルギー)	小野 憲司	阪神国際港湾(株)取締役副社長
若手技術者 委員会 (YPCom)	H29. 6. 19	Cairns (オーストラリア)	高橋 英紀	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 地盤改良研究グループ グループ長

## 2) PIANC-Japan 関係

- ① 国内各種活動の推進のために、下記の通り、総会、理事会、運営委員会、企画小委員会、企画委員会の各会議及び報告会を開催した。

会議等	開催日	開催場所
平成 29 年度企画委員会	H29.6.27	OCDI 会議室
第 44 回通常総会	H29.7.3	都市センターホテル
第 48 回理事会	H29.7.3	都市センターホテル

### ② 29 年度 PIANC-Japan 活動報告会

日時：平成 29 年 7 月 3 日（月）15:30～16:50

場所：都市センターホテル

講師およびテーマ：

- a) ケアーズ AGA の概要  
堀川 洋 PIANC-Japan 事務局長
- b) 国際協力委員会 (CoCom) 報告  
小野 憲司 京都大学防災研究所社会防災研  
部門(港湾物流 BCP 研究分野)教授
- c) 海港委員会 (MarCom) 報告  
樋口 嘉章 (株)オリエタルコンサルツ 執行役員
- d) 環境委員会 (EnviCom) 報告  
中村 由行 横浜国立大学都市イノベーション研究院 教授
- e) レクリエーション委員会 (RecCom) 報告  
山下 雅人 (一社)日本マリナ・ビーチ協会理事

## (2) 委員会・研究活動

- 1) 平成 29 年度の各委員会等の日本の委員は次のとおりである。

委員会	日本の委員
ExCom 副会長	林田 博 国際航路協会 日本部会 会長
EnviCom 委員	中村 由行 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授 深海 正彦 新日鉄住金エンジニアリング(株)ゼネラルマネージャー
MarCom 委員	樋口 嘉章 (株)オリエタルコンサルツ 執行役員
CoCom 委員	小野 憲司 阪神国際港湾(株)取締役副社長
YPCom 委員	高橋 英紀 (国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 地盤改良研究グループ グループ長
RecCom 委員	山下 雅人 (一社)日本マリナ・ビーチ協会 理事

2) わが国の委員が参画する WG は以下の通りである。

内陸水路委員会(InCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
128	内陸水運のための代替的な技術 生物による河岸防災手法(仮訳)	井上 徹教 港空研
166	Inflatable structures in hydraulic engineering 水理工学分野における膨張式構造物	丸山 一郎 住友電気工業
199	Health Monitoring Mitigation and Technologies for Inland Waterways	加藤 絵万 港空研

199 は海港委員会 WG としても開催

海港委員会(MarCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
145	Berthing Velocities and Fender Design 接岸速度と防舷材の設計	上田 茂 いであ(株) (共同委員長) 山瀬 晴義 (株)ブリジストン
153	Recommendation for the design of marine oil terminals 海洋石油ターミナルの設計に関する勧告	小濱 英司 港空研
164	増深によるターミナルの改良	水谷崇克 宮田正史 港空研
167	Design of terminal for RoRo and RoPax vessels RoRoおよびRoPax船用ターミナルの設計	竹信 正寛 港空研
205	Design and Construction of Breakwaters on Soft Seabeds	高橋 英紀 港空研 渡部 要一 北大 熊谷 隆宏 五洋建設
208	Planning for Automation of Container Terminals	吉江 宗生 港空研 小野 憲司 阪神国際港湾

## 環境委員会(EnviCom)

WG 番号	WG名	日本の委員
163 (旧 16)	Management of Ports Harbour and Waterways for Fishes and Shellfishes 魚介類のための港湾・航路の管理	桑江 朝比呂 港空研
Perma nent Task Force	自然と共に 一気候変動と航路一	本多 和彦 国総研

## 国際協力委員会 (CoCom)

WG 番号	WG 名	日本の委員
126	Training in Ports and Waterways 港湾および水路におけるトレーニング	安部 智久 国総研

## その他 (TG)

番号	TG 名	日本の委員
181	The State and Perspectives of Waterborne Transport Infrastructure Worldwide 世界における水上輸送インフラの現状と展望	安部 智久 国総研 高橋 英紀 港空研

3) 平成 29 年度、次の WG から研究報告書が発行された。

MarCom WG161 – April 2018:

Interaction between Offshore Wind Farms and Maritime Navigation

MarCom WG144 – September 2017:

Classification of Soils and Rocks for the Maritime Dredging Process - Abridged Field Version

RecCom WG177 – August 2017:

10 Years of the Marina Excellence Design ‘Jack Nichol’ Award (MEDA)

RecCom WG149 part 4 – August 2017: Guidelines for Marina Design

InCom WG173 – August 2017:

Movable Bridges and Rolling Gates Design, Maintenance and Operation - Lessons Learned



InCom WG154 – August 2017:

Mitre Gate Design and Operation

InCom WG156 – April 2017:

E-Navigation for Inland Waterways 2017

また、以下の WG が設立された。

設立日	WG No.	WG名
4月12日	InCom198	Saltwater Intrusion Mitigations and Technologies for Inland Waterways
4月12日	RecCom202	Influence of Recreational Navigation Infrastructures(RNI) on Waterfront Projects
12月7日	RecCom148	Sustainable Recreational Navigation Infrastructure
12月7日	MarCom205	Design and Construction of Breakwaters on Soft Seabeds
2月23日	InCom206	Update the Final Report of the International Commission for the Study of Locks
2月23日	InCom207	Innovations in Shiplift Navigation Concepts
2月23日	MarCom208	Planning for Automation of Container Terminals
2月27日	MarCom194	A Framework for Early Contractor Involvement in Infrastructure Projects

### (3) 活動費の補助

PIANC 本部の研究活動等への参加者に対し、申請に応じ参加費用の一部（旅費及び宿泊費など）を次の会員に補助した。

研究活動等	年月日	開催地	参加者
MarCom	H29.9.11-12 H30.1.30-31	フランス、カレー ベルギー、ブリュッセル	樋口 嘉章
RecCom	H29.9.18	米国、ピッツバーグ	山下 雅人
EnviCom	H29.9.17-18 H30.1.30-31	米国、ピッツバーグ ベルギー、ブリュッセル	深海 正彦
YP-Com	H29.6.19	オーストラリア、ケアンズ	高橋 英紀

### (4) 普及活動

- 1) PIANC Magazine および WG レポートを配信した。
- 2) PIANC-Japan News をホームページに掲載、配信した。

(5) その他

平成30年3月31日現在の会員数は以下の通りである。

会員の種別		H29.3.31	増 減	H30.3.31	
正会員	団体会員	54	2	56	
		(ﾌﾟﾗｲﾄﾞ及び賛助会 員、内数)	(0)	(2)	
	個人会員	普通会員	109	+2 (+7-5)	111
		(40歳以下、内数)	(11)	(-1)	(10)
		学生会員	0	0	0
		名誉会員	3 (内終身会員3)	-1	2 (内終身会員2)
合計		166	+3	169	

## Ⅱ 平成29年度 決算報告(案)

### 収 支 計 算 書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

#### 1. 収入

(単位:円)

科 目	(A)平成29年度 予算額	(B)平成29年度 決算額	(A)-(B)	備 考
会費	9,540,000	10,037,000	△ 497,000	
個人会費	1,690,000	1,575,000	115,000	
団体会費	7,850,000	8,462,000	△ 612,000	
	0	0	0	
特別積立預金取崩収入	3,000,000	0	3,000,000	
雑収入	20,000	10,530	9,470	
当期収入合計	12,560,000	10,047,530	2,512,470	
前期繰越収支差額	1,934,870	1,934,870	0	
収入合計	14,494,870	11,982,400	2,512,470	

#### 2. 支出

科 目	(A)平成29年度 予算額	(B)平成29年度 決算額	(A)-(B)	備 考
事務局管理運営費	4,160,000	3,164,326	995,674	
物件費	1,960,000	1,698,457	261,543	印刷、通信、パソコン、送料、消耗品
会議費	700,000	705,461	△ 5,461	理事会・総会等
会議出席旅費	1,500,000	760,408	739,592	事務局、Council等出席旅費
研究事業費	4,200,000	2,029,499	2,170,501	
物件費	100,000	40,746	59,254	機関誌通関、活動報告会等
会議費	100,000	75,064	24,936	
会議出席旅費	2,000,000	1,250,000	750,000	委員会、WG出席補助
活動活性化費	2,000,000	663,689	1,336,311	
本部会費	4,100,000	4,041,398	58,602	
特別積立金	0	0	0	
コンgres出席積立金支出	600,000	600,000	0	
予備費	0	0	0	
当期支出合計	13,060,000	9,835,223	3,224,777	
当期収支差額	△ 500,000	212,307	△ 712,307	
次期繰越額	1,434,870	2,147,177	△ 712,307	

貸 借 対 照 表

(平成30年 3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,147,177	流動負債	0
普通預金	2,147,177		
固定資産	31,000,000	固定負債	31,000,000
kongress出席積立預金	2,800,000	kongress出席積立金	2,800,000
特別積立預金	28,200,000	特別積立金	28,200,000
		負債合計	31,000,000
		正味財産の部	
		正味財産	2,147,177
		(うち当期正味財産増加額)	212,307
資産合計	33,147,177	負債及び正味財産合計	33,147,177

財 産 目 録

(平成30年 3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,147,177	流動負債	0
普通預金	2,147,177		
三菱東京UFJ銀行本店	2,147,177		
固定資産	31,000,000	固定負債	31,000,000
kongress出席積立預金	2,800,000	kongress出席積立金	2,800,000
三菱東京UFJ銀行本店	2,800,000		
特別積立預金	28,200,000	特別積立金	28,200,000
三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店(定期)	10,000,000		
みずほ銀行新橋支店(定期)	10,000,000		
三菱東京UFJ銀行本店	8,200,000		
資産合計	33,147,177	負債合計	31,000,000
		差引正味財産	2,147,177

## 正味財産増減計算書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
1. 増加の部	
当期収支差額	212,307
資産増加額	600,000
kongress出席積立預金増加額	600,000
増加額合計	812,307
2. 減少の部	
負債増加額	600,000
kongress出席積立金増加額	600,000
減少額合計	600,000
当期正味財産増加額	212,307
前期繰越正味財産額	1,934,870
期末正味財産合計額	2,147,177

### 監 査 報 告

平成29年度会務報告及び決算報告について監査したところ、

いずれも適正かつ妥当であることを確認しました。

平成30年 5月29日

国際航路協会日本部会

監事 池田 龍彦

監事 鶴谷 広一



## 第 2 号議案 平成 3 0 年度事業計画並びに収支予算

### I 平成 3 0 年度事業計画

#### (1) 活動方針

我が国の国益に沿うことも念頭に置きつつ、官民で連携して次の対応を行う。

- ① 我が国港湾技術の国際標準化支援
- ② 我が国の港湾技術や政策の世界への発信
- ③ 各国の PIANC 国内委員会との連携等を通じた PIANC-Japan のネットワークの充実と、アジア域内の PIANC 活動活発化への貢献

なお、上記活動に当たっては次の対応を基本とすることとする。

- ① PIANC 本部において行われる活動の基本方針や計画などの決定に積極的に関与し、PIANC 活動の発展に貢献する。
- ② PIANC 本部において行われる研究活動に積極的に参画し、我が国港湾技術の国際標準化及び港湾技術情報の国際交流の促進に貢献する。
- ③ 上記活動の参加者に対し、必要に応じ活動費の支援を行う。
- ④ 日本部会会員相互の情報交換を促進する。
- ⑤ 日本部会の組織の強化及び活動の活性化を図る。
- ⑥ Young Professional の組織活性化を図る。
- ⑦ 会員サービスの向上を図る。

#### (2) 会議参加および開催

##### 1) PIANC 本部関係

第 34 回国際航路会議、2018 年年次総会、Council, ExCom、その他委員会などに積極的に参加する。

【参考】平成 30 年度各種委員会への参加者は次の通りである。

ExCom	副会長	林田 博	国際航路協会 副会長
InCom	委員	菅野 高広	(一財)沿岸技術研究センター 審議役
MarCom	委員	樋口 嘉章	(株)オリエンタルコンサルタンツ 常務役員
EnviCom	委員	深海 正彦	新日鉄住金エンジニアリング(株) ジェネラルマネジャー
CoCom	委員	小野 憲司	阪神国際港湾(株) 取締役 副社長
YPCom	委員	高橋 英紀	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 地盤改良研究グループ グループ長
RecCom	委員	山下 雅人	(一社)日本マリーナビーチ協会 理事

## 2) PIANC-Japan 関係

国内各種活動の推進のために、総会、理事会、企画委員会等の会議を開催する。

## 3) 2019 神戸 AGA への取り組み

開催費用の一部としてとして¥10,000,000 を国際航路協会 2019 年年次総会実行委員会に拠出する。また、準備作業を進める。

## (3) 研究活動

### 1) 各種作業部会 (WG) への参加

InCom、MarCom、EnviCom、CoCom、YPCOM、RecCom などの各種作業部会 (WG) に参加し、その出席及び国内で開催される会合への支援を積極的に行う。

本年度から参加するWGと参加者は以下の通り。

#### MarCom208 Planning for Automation

of Container Terminals

吉江宗生

(港空研)

小野憲司

(阪神国際港湾)

### 2) 論文募集

PIANC Magazine への論文投稿を呼びかけると共に、若い技術者や研究者を対象とした De Paepe-Willems 賞への論文投稿を奨励する。

### 3) その他

PIANC-Japan の活動の趣旨に沿った調査事業等を支援する。

## (4) 活動費の補助

### 1) PIANC 本部関連会議への参加費用の補助

国際航路会議 (Congress) 技術セミナー、PIANC 本部関連会議(WG 等)等への我が国からの参加者に対し、申請に応じて参加費用の一部 (航空運賃、宿泊費等) を補助する。

また、海外滞在中の専門家が関連会議に出席する場合、申請に応じて参加費用を補助する。

### 2) PIANC 本部関連会議(WG 等)の我が国での開催への支援

PIANC 本部関連会議(WG 等)に対し、必要に応じて開催費用を補助する。

### 3) Magazine 等に提出する論文に対し、翻訳などが必要な場合、翻訳費等を補助する。

(5) 会員サービス

- 1) PIANC 本部および日本部会の活動状況を会員に紹介するため次のことを実施する。
  - ・「国際航路協会日本部会運営案内」(平成 29 年度)の作成、配信
  - ・PIANC Yearbook の日本部会会員への配布
  - ・PIANC WG 報告の紹介
- 2) PIANC-Japan のホームページ(日本語版・英語版)の内容を更新する。
- 3) WG 報告書等の中から、日本部会会員にとって有用な報告書を日本語に翻訳、配布する。
- 4) 会員向け報告会を開催する。

(6) アジア地域等における PIANC 活動の活性化

日・ASEAN 次官級交通政策会合、APEC における非公式会合などの場を活用して、アジア地区における PIANC 活動の活性化を図る。また、アジア地域の技術者が PIANC 関連会議等に参加する機会があれば渡航費用を支援すること等によって活動の活性化を図る。

また、日本部会が中心となってカンボジア国の PIANC 再加盟を働き掛けており、引き続き加入手続きの支援等、日・カンボジアの連携強化をはかり、その実現に努める。

(8) その他

本部プラチナ会員への入会勧誘を促進する。

団体会員に対し、PIANC Magazine への広告掲載を呼びかける。



## Ⅱ. 平成30年度予算案

### 1. 収入

科 目	(A)平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	(B)平成30年度 予算額	(B)-(A)	備 考
会費	9,540,000	10,037,000	10,037,000	497,000	
個人会費	1,690,000	1,575,000	1,575,000	△ 115,000	
団体会費	7,850,000	8,462,000	8,462,000	612,000	
特別積立取崩し	3,000,000	0	15,500,000	12,500,000	
コンgres積立預金取崩し	0	0	2,800,000	2,800,000	
雑収入	20,000	10,530	10,000	△ 10,000	
当期収入合計	12,560,000	10,047,530	28,347,000	15,787,000	

前期繰越収支差額	1,934,870	1,934,870	2,147,177	212,307	
----------	-----------	-----------	-----------	---------	--

収入合計	14,494,870	11,982,400	30,494,177	15,999,307	
------	------------	------------	------------	------------	--

### 2. 支出

科 目	(A)平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	(B)平成30年度 予算額	(B)-(A)	備 考
事務局管理運営費	4,160,000	3,164,326	4,200,000	40,000	
物件費	1,960,000	1,698,457	2,000,000	40,000	印刷、通信、パソコン、送料等
会議費	700,000	705,461	700,000	0	理事会・総会等
会議出席旅費	1,500,000	760,408	1,500,000	0	事務局AGA,Council等出席旅費
研究事業費	4,200,000	2,029,499	9,700,000	5,500,000	
物件費	100,000	40,746	100,000	0	Yearbook通関、活動報告会、翻訳等
会議費	100,000	75,064	600,000	500,000	
会議出席旅費	2,000,000	1,250,000	6,000,000	4,000,000	委員会、WG出席補助
活動活性化費	2,000,000	663,689	3,000,000	1,000,000	WG報告印刷等
本部費	4,100,000	4,041,398	4,100,000	0	
コンgres出席積立預金支出	600,000	600,000	1,000,000	400,000	
神戸AGA拠出金	0	0	10,000,000	10,000,000	
予備費	0	0	0	0	
当期支出合計	13,060,000	9,835,223	29,000,000	15,940,000	
次期繰越額	1,434,870	2,147,177	1,494,177	59,307	

## 第 3 号議案 役員を選任について

### 1. 役員候補の選任

役員任期満了に伴い、次期役員を日本部会規約第 8 条(役員を選任)及び第 10 条(役員任期)により選任するため、候補を以下のように提案する。

#### 理事

岩波 光保	新任	東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系	教授
影山 智将	再任	(一財)漁港漁場漁村総合研究所	理事長
川嶋 康宏	再任	(一社)海洋調査協会	会長
栗山 善昭	再任	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	所長
清水 琢三	再任	(一社)日本埋立浚渫協会	会長
鈴木 弘之	新任	国土交通省 国土技術政策総合研究所	副所長
須野原 豊	再任	(公社)日本港湾協会	理事長
高橋 重雄	新任	(一財)沿岸技術研究センター	理事長
富田 英治	再任	(一財)国際臨海開発研究センター	理事長
灘岡 和夫	再任	東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系	教授
橋本 牧	再任	(公社)全国漁港漁場協会	会長
林田 博	再任	国際航路協会	副会長

#### 監事

鶴谷 広一	再任	三井共同建設コンサルタント(株)	技術顧問
堀川 洋	新任	(株)三井 E&S 鉄構エンジニアリング	技術本部 技師長

また、日本部会規約第 8 条第 2 項により、会長を理事の互選で決定する。  
さらに、同条第 3 項により、副会長を会長の指名により決定する。

### 2. 事務局長の選任

次期事務局長を日本部会規約 18 条 2 項の規定により選任するため、候補を以下のように提案する。

#### 事務局長

東山 茂 新任 国際航路協会日本支部事務局長

---

#### 【参考】

- ・日本部会規約第 8 条 (役員を選任)  
理事及び監事は、総会において正会員の内から選任する。
  2. 会長は、理事の互選とする。
  3. 副会長は、会長の指名による。
- ・同 10 条(役員任期)  
役員任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。
- ・同 18 条 2(事務局)  
事務局長は、理事会の議決により会長が任命する。

# 報告事項 1

## 企画委員会委員の交替について

人事異動等に伴い、日本部会規約第 17 条の 2（委員会）及び国際航路協会日本部会企画委員会細則(平成 24 年 6 月 22 日)による企画委員会の委員を下記のように変更する。

平成 30 年 6 月 13 日（敬称略、順不同）

委員長	久田 成昭	国土交通省 港湾局 産業港湾課	国際企画室長
副委員長	池町 円	国土交通省 港湾局 技術企画課	技術基準審査官
委員	鎌倉 崇	国土交通省 国土技術政策総合研究所	管理調整部 企画調整課長
〃	河野 大輔	農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部整備課	課長補佐
〃	野田 巖	(国研)海上・港湾・航空技術研究所	港湾空港技術研究所 企画管理部 企画調整・防災課長
〃	西園 勝秀	(独)国際協力機構 社会基盤・平和構築部	技術審議役
〃	小堀 正啓	東京都 港湾局 港湾整備部	計画課長
〃	遠藤 祐一	(一社)日本埋立浚渫協会(五洋建設(株)国際部門)	国際土木本部土木事業部専門部長
〃	高野 誠紀	(一財)沿岸技術研究センター	研究主幹
〃	黒川 和浩	(一財)国際臨海開発研究センター	研究主幹
〃	菊池 一夫	(一財)みなと総合研究財団	研究主幹
〃	高田 直和	(一財)港湾空港総合技術センター	研究主幹
〃	武田 真典	(一社)水産土木建設技術センター	調査研究部 主任研究員
〃	藤野 真	(一社)日本埋立浚渫協会(東亜建設工業(株)土木事業本部)	副本部長
〃	原田公一郎	(一社)港湾技術コンサルタンツ協会((株)日本港湾コンサルタント)	海外事業本部長
〃	菅野 高弘	国際航路協会本部	内陸水路委員会日本代表
〃	樋口 嘉章	国際航路協会本部	海港委員会日本代表
〃	小野 憲司	国際航路協会本部	国際協力委員会日本代表
〃	深海 正彦	国際航路協会本部	環境委員会日本代表
〃	山下 雅人	国際航路協会本部	レクリエーション委員会日本代表
〃	高橋 英紀	国際航路協会本部	若手技術者委員会日本代表

事務局 種村 誠之 国土交通省港湾局産業港湾課 首席国際調整官  
東山 茂 PIANC-Japan 事務局長

## 報告事項 2

### パナマ年次総会（AGA）及び国際航路会議（Congress）について

#### (1) 概要

- ・2018年の年次総会（5/5）及び国際航路会議（5/7～11）が、パナマ国のパナマシティ市内（RIU プラザパナマホテル）において開催された。
- ・本会には、世界各国の会員が参集したが、わが国からは林田博・PIANC 副会長（日本部会長）、浅輪宇充・国土交通省大臣官房技術参事官（日本政府主席代表たる港湾局長の代理として）、山本竜太郎・水産庁漁港漁場整備部整備課長、辻英之・神戸市みなと総局長以下、産官学関係者約 50 名が参加した。

#### (2) 年次総会（5/5）

- ・PIANC のコーデ会長挨拶ののち、幾つかの議題が論じられる中で、次期年次総会となる神戸大会に関しては、浅輪・国土交通省大臣官房技術参事官及び辻・神戸市みなと総局長が挨拶及び紹介を行った。
- ・また、若手論文表彰制度である「デパペ・ウィレムス賞」に応募された 18 本の論文の中で最優秀賞を受賞した水野剣一氏（五洋建設）への表彰と論文内容についてのプレゼンテーションが行われた（受賞論文名は「無人船を用いた港湾構造物の検査診断システム」）。
- ・年次総会に並行して、各委員会（若手技術者による委員会等）も開催された。

#### (3) 国際航路会議（5/7～11）

- ・PIANC のコーデ会長挨拶ののち、キハーノ・パナマ運河庁長官及びジェイムズ米国陸軍次官補（公共工事担当）が基調講演を行い、拡張工事が完成供用したパナマ運河の近況等について説明がなされた。
- ・各分野（港湾、浚渫、環境、流通等）毎のテクニカルセッションにおいて、全体として 312 件のプレゼンテーションがなされる中で、日本からは 13 件のプレゼンテーションがなされた。なお、日本人としては 2 名（樋口嘉章氏（オリエタルコンサルツ）及び小野憲司氏（阪神国際港湾））がテクニカルセッション議長を務めた。
- ・期間中、会場の一隅に企業 PR ブースが設置され、本邦関連企業（シバタ工業）も含め、各社の製品等についての PR 活動もなされた。
- ・閉会式（5/10）においては、環境共生型事業への取組みに対する認証制度である「ワーキング・ウィズ・ネイチャー」制度への 11 件の新たな事業認証について報告がなされた。今回認証事業の中には、本邦の下記 2 件が環境共生型事業として認証された。
  - 国交省九州地整博多港湾空港整備事務所及びみなと総合研究財団  
「博多港浚渫土砂を有効活用した海域環境改善への取組み」
  - 日建工学  
「輪島港防波堤築造工事における環境活性コンクリートの実証実験プロジェクト」

## 報告事項 3

### PIANC 神戸年次総会について

#### 【1. 年次総会の概要】

会議名：国際航路協会 2019 年 年次総会 (PIANC 2019 AGA in KOBE)

日 程：2019 年 6 月 3 日 (月) から 7 日 (金) (5 日間)

場 所：神戸ポートピアホテル

主 催：国際航路協会 2019 年年次総会実行委員会

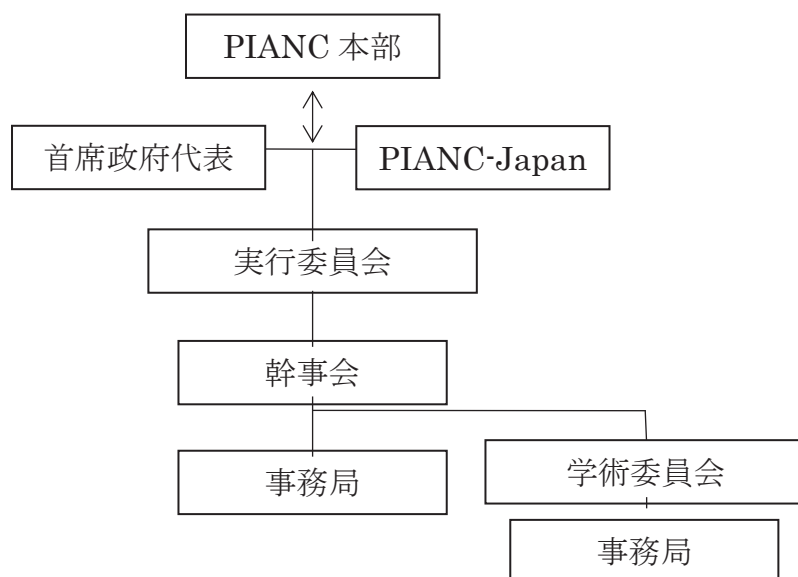
概 要：

- ・年次総会(AGA: Annual General Assembly)は、年 1 回、加盟国持ち回りで開催される。
- ・2017 年 6 月 19 日の PIANC ケアンズ年次総会において、神戸で 2019 年の年次総会を開催する旨の報告がなされた。
- ・同年 7 月 3 日の PIANC-Japan 総会で、本年次総会のスケジュール案、今後の体制整備案、準備委員会メンバー案が示された。
- ・同年 10 月には実行委員会・幹事会を立ち上げ、本格的な開催準備を始めた。

<2019 年 年次総会の基本的なスケジュール案>メイン会場：ポートピアホテル

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
	6 月 3 日 (月)	6 月 4 日 (火)	6 月 5 日 (水)	6 月 6 日 (木)	6 月 7 日 (金)
午前	ExCom (執行委員会)	各 Com (技術委員会)	AGA (年次総会)	技術セミナー	Technical ツアー ・人と防災未来センター ・琵琶湖疏水 ・蹴上イクライ ・南禅寺
午後	ExCom (執行委員会)	Council (評議会)	AGA (年次総会)		
夕方	ExCom Dinner @酒心館	Welcome Party @ルミス神戸 2 (市長主催)	AGA Dinner @相楽園 (首席代表主催)	ナイトツアー ・六甲山	
同伴者 ツアー	神戸	京都	姫路		

## 【2. 準備組織・体制（案）】



## 【3. 主要な組織の役割・業務（案）】

### ・実行委員会の業務

設置時期：2017年10月

開催時期：毎年度初、年次総会終了後の最終報告等の5回を予定

検討事項：本会議の最終意思決定機関（全体プログラム承認、予算計画及び決算報告の承認、活動計画及び報告の承認等）

### ・幹事会の業務

開催時期：適宜（幹事長の要請に応じて）

検討事項：会長の命を受けて、年次総会開催の準備・運営にかかる事務を実施。

### ・学術委員会の業務

開催時期：適宜（幹事長の要請に応じて）

検討事項：総会関連行事のうち、学術的な行事、特に技術セミナーの実施にかかる企画・検討・調整（テーマ・内容の検討、講演者の選定・依頼等）

## 【4. 技術セミナー（案）】

- ・ PIANC 会員に加え、広く一般にも公開し600名程度の聴講者を想定。
- ・ 「アジアセッション」では、PIANC 活動のアジア拡大をにらみ、アジアから技術者を招聘し、各国の大規模プロジェクトの事例について講演する。
- ・ 「テクニカルセッション」では、阪神淡路大震災・東日本大震災からの復旧・復興の取り組みを世界に発信するとともに、世界の沿岸域の防災・減災の知見を共有する。

## 【5. エクスカーション（案）】

6月3日（月）同伴者ツアー：神戸（神戸都心まち歩き）

6月4日（火） 同伴者ツアー：京都（金閣寺、平安神宮）

6月5日（水） 同伴者ツアー：姫路（姫路城）

6月6日（木） ナイトツアー：六甲山

6月7日（金） 技術ツアー：神戸（阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」）  
京都（琵琶疏水、蹴上インクライン、南禅寺）

※ 5日午後及び6日終日、神戸ポートピアホテル内に、着付け等の日本文化を体験できるイベント会場を設置

## 【6. 今後のスケジュール（案）】

### 2018年

6月 実行委員会②（平成29年度決算、平成30年度予算、2018年年次総会（パナマ）での活動報告等）

8月 国交省がH31年度予算要求

年末 実行委員会③（プログラムの確定、広報宣伝活動の方針確認）、会議参加登録の開始

### 2019年

年初 Council@ブラッセルで広報宣伝

5月 実行委員会④（当日のプログラム等の最終確認）

6月 2019年年次総会の開催

夏頃 実行委員会⑤（年次総会の総括、最終報告書の作成）